

平成25年12月（第12回）教育委員会会議録

1. 開催の日時及び場所

平成25年12月24日（火） 14:00～17:00
宇部市港町庁舎 2階会議室

2. 出席委員の氏名

縄田 和光 委員長
水田 和江 委員
三原 節子 委員
赤川 宏 委員
白石 千代 教育長

3. その他議場に参加した者

佐貫教育部長、辻村教育次長、安田学校教育課長、山脇社会教育課長、西村総務課長補佐、濱原総務係長、吉山指導主事

4. 傍聴者

なし

5. 趣 旨

委員長： ただいまから、平成25年12月24日の第12回教育委員会会議を開催いたします。本日は5人全員の出席がありますので、会議として成立していることを最初に報告します。

また、本日は傍聴の申し出はありませんでした。

次に、会議録の承認についてですが、前回の会議でお配りしています第10回の会議録について、ご意見等ありますか。

（全委員異議なし）

委員長： 異議がありませんので、第10回会議録については承認とさせていただきます。

また、前回の第11回の会議録については机上に配付しています。次回会議までにご覧いただき、次回の会議で承認を受けたいと思いますので、確認のほどよろしくお願ひします。

次に、本日の会議録署名委員の指名についてですが、本日の会議録署名人は三原委員にお願いします。

委員長： 本日の議題は、「全国学力・学習状況調査について」の1件と、その他の事項として「平成26年度宇部市立小・中学校教職員人事異動方針について」、「平成26年成人式について」、「12月議会の報告について」、「寄附の報告について」の4件となっております。

次第に沿って進めていきますので、始めに「全国学力・学習状況調査について」から説明をお願いします。

事務局： 全国学力・学習状況調査については、9月の会議で既に調査結果を報告しておりますが、その結果をもとに11月から学力向上プロジェクト委員会において各教科別のデータ分析や、本市における課題の見つけ出し、指導方法の検討など行っています。本日は国語部会と算数、数学部会がこれまでにま

とめました結果について報告させていただきます。

事務局： 小学校の調査部会が取りまとめました、国語と算数の報告書について説明させていただきます。

(資料に基づき、説明を行う。)

委員： 今、手元にある資料をこの様式で学校に通知していくのですか。

事務局： 各学校に通知するとともに、市のHPへの掲載を予定しています。

委員： 小学校の国語部会の報告書を見ると、問題の解き方と指導のポイントが一緒になって書かれていたり、冒頭に問題文が書かれている等、見づらい点が多くあります。子ども達の学力向上には、話す力や経験を豊かにさせていくことも必要であることから、もっと別の方策があってもいいと思います。

また、算数部会の報告書では、記述式の正答率が低い要因として、記述の仕方が分からないから回答できないような分析もされていますが、それは違うと思いますし、過去問題をやることで正答率が上がるというようなことも言われましたが、それもどうかと思いました。

事務局： 手元の資料には正答率が低かった問題を抽出した上で、その問題を分析し、解くためのポイントを中心に書かれていますので、言われるように国語力全体を向上させるための方策等の内容が不足しています。それらのことについては、1月に第3回目のプロジェクト委員会を開催する予定としており、その中で学校の授業改善や家庭教育における取組等について協議をしていきたいと考えております。

委員： この報告書からは、主張したいところが分かりづらいので、問題に対する課題なのか、教え方に対する課題なのか、まとめ方をもう少し工夫していただきたいと思います。学習習慣は一日で身に付くわけではありませんし、もっと幅広い視点で考えていくべきだと思います。例えば、多くの子ども達が利用している学童保育を見ても、宿題などを落ち着いてできる環境ではないと思いますし、家庭学習をどのように変えていくかも含めて整理していただきたいと思います。

委員： 算数部会の指導のポイントとして、過去問題を活用すると書かれてありますが、そのことで問題を解くテクニックは身に付くとは思いますが、学力を身に付けるには学校での日々の授業改善が不可欠と思っていますので、もっと広い視野でその辺りをもっと話し合っていたいただきたいと思います。

また、国語の問題で選択にもかかわらず、無回答率が多いことも大変気になりました。子ども達の問題に取り組む意欲に原因があるのか、もう少し粘り強く取り組む姿勢が必要ではないかと思っています。

今回の結果を踏まえて、各学校では授業をどのレベルまで改善していくのが一番大事だと思いますので、その辺りをしっかり協議していただきたいと思いました。

事務局： 本市の児童生徒は、今回のような学力調査に慣れておらず、また、家庭学習習慣が十分に定着していないという結果もでていきますので、報告書にもあります「やまぐち学習支援プログラム」や過去問題を宿題として行わせるこ

とを検討しています。しかしながら、宿題では解決できないものや、実際に子どもが取り組んだ内容をいつ確認するのか等の課題も残ることから、授業改善も含めた取組も併せて考えていけないと思っています。

委員： 私の子どもが小学生だった頃、宿題といえば、計算ドリルと漢字ドリルだけやらせる先生がいました。それだけでは、今学んでいる計算の仕方や習った漢字に直接触れることが無いので、保護者としても不安になりますし、復習という意味では十分とは言えないと思っていました。

事務局： 今回の調査問題で、6年生の算数のある問題で、一部の学校の多くの児童が解けなかったという結果がありました。このことは、中学校に進学した時や、他の教科を学ぶ時に支障が出てくることが予想されます。先に進むためには、振り返り学習することが非常に重要であると思っています。

委員： 宇部市では学び合いのある授業を推進していますが、その成果が十分に上がっていない段階で、直ぐ方向転換して新しいことをやらせるのでは現場の先生も混乱してしまいます。先生方ともよく協議しながら、現在取り組んでいる学び合いを核としながら、これからも一緒に進めていただきたいと思います。

委員長： 他にご意見がなければ、中学校の調査部会についても説明をお願いします。

事務局： それでは、中学校の調査部会が取りまとめました、国語と数学について報告させていただきます。

(資料に基づき、説明を行う。)

委員： 数学については、小学校6年生で全国平均より低い水準から、中学校3年生では平均以上に改善していることは非常に評価できると思っています。調査部会の報告書についても、中学校の数学については他の部会と比べて非常に分かりやすい内容となっていると思います。

事務局： 今回の報告書については、特に様式を定めていませんでしたので、部会によってまとめ方が様々で、少し見づらいところもあります。言われるとおり、中学校の数学部会については良くまとめられていると思いますので、次回から他の部会の参考とさせていただきます。

委員： 中学校の数学では、報告書でも分かるように、先を見据えた検証なり計画もきちんと整理出来ているからこそ、その延長として、生徒の正答率も高くなっていることに繋がっているのではないのでしょうか。

一方で、小学校の報告書では具体的なことが書かれておらず、少し物足りなさを感じます。日々の指導にその辺りの影響が繋がってなければ良いのですが。

事務局： 中学校では高校入試というハードルがありますので、基準となる学力は分かりやすいのですが、その点で、小学校では少し基準が分かりにくいところがあるかもしれません。

委員： 小学校の時に必要なことをきちんと押さえておかないと、中学校に上がって生徒も教員も困ることになります。今の教育課程では小学生は自動的に中学に進学することができるので、その分、基礎を疎かにしてはいけないと思

っています。小学校の教員はもっとその辺りを自覚して、授業の指導に取り組んでいただきたいと思います。

委員： 最近では、市内の小学校と中学校の連携も進められていると思いますので、小学校の教員はその辺りのノウハウを中学校の教員から身に付けていただきたいと思います。

しかしながら、今回の調査結果のみで指導方法を変えていくことは適切でないと思っていますので、学び合いや今の取組を再度検証し、定着させていくことも重要であると思っています。

事務局： こちらとしても今回の結果のみではなく、過去の経年変化については注視しています。例えば、今回小学校の算数の正答率は全国平均と比べて下回っていますが、過去からの経年変化で見ると右肩上がりの結果となっており、その点では評価できると思います。一方で、中学校の数学では全国平均を上回っていますが、経年変化で見ると右肩下がりの結果となっている状況を踏まえると、今後の改善が必要と考えています。

委員： 桃山中学校のPTA組織で取り組んでいる「やまぐち学習支援プログラム」の活用は、とてもいい取組と思います。小学校でも同様の取組ができればいいと思いますが、いかがでしょうか。

教育長： この桃山方式は、昨年1月頃から始められていますが、様々な点で成果が出ていると聞いています。

この他にも、厚東中学校では、朝学の10分間を活用して国語や数学等の授業を行う独自の取組を行うことで、学力の向上に成果を上げています。良い事例として、同様に紹介しても良いかもしれませんね。

委員： 学力を上げていくには、学校全体で取り組む必要があります。一人の担当だけではどうしても頑張れないところがあり、教師間の競争も必要な要素の一つであると思います。

また、子ども達にとって先生の影響力は非常に大きいもので、先生が出す宿題は子ども達もやりますし、家庭で取り組むべきことをもっと先生が子ども達に伝えていくことで、家庭での生活習慣も変わっていくと思います。

委員長： 他にご意見はありませんか。

学力調査と直接関係ありませんが、先日行われた「宇部授業の日」を知らない保護者、PTA会長の方がおられました。市として重要な取組の一つですので、もっと周知をしていただきたいと思います。

事務局： ほとんどの学校では午前中に授業が終わりますので、子どもを通して保護者には「宇部授業の日」のお知らせ文を渡しているはずですが、周知の仕方は各学校に任せてありますので、十分でなかった学校があったのかもしれませんが、各学校には指導していきたいと思います。

委員長： よろしくお願ひします。

学力調査については、結果の分析等から、各学校の課題や改善点が分かっていると思います。各学校では、児童・生徒に対して指導や学習状況の改善が行われると思いますが、教育委員会としましても、引き続きの支援をお願いします。

す。

続いて、「平成26年度宇部市立小・中学校教職員人事異動方針について」について説明をお願いします。

事務局：小・中学校教職員人事異動方針については、事前に委員さんへ郵送させていただき、ご了承をいただいているところですが、改めて資料に基づき説明させていただきます。

(資料2に基づき、説明を行う。)

なお、同一校勤務が7年を超える者の異動については、「長い」という意見と「短い」という両方の意見をいただいております。

委員：私は、これから学び合いを進めていく中で、各学校でリーダーシップをとって引っ張っていく先生が異動していくことは、その学校にとって大きなマイナスになると思っています。また、地域のコーディネーターの役割を担っている先生に対しても配慮ができないかと考えており、その点で7年では短いと考えています。県との調整も必要となると思いますが、その辺を考慮していただきたいと以前から考えています。

事務局：私どもとしましては、異動を踏まえた学校内での引き継ぎや人材の育成が必要と思っており、どこの学校でも同じようにやるのが望ましいと考えています。ただ、現実的には、言われるとおりに難しいところもあります。

委員長：この方針は公表するものですか。

事務局：各学校へ通知しています。

委員：校長先生の異動は7年より短いですね。

事務局：管理職については、そういう傾向にあります。

委員長：他にご意見はありませんか。

教職員の人事については、各学校が抱えている課題が少しでも解決できるように、また、全市的な視野に立ち、学校間の連携も進むよう、適材・適所の配置をお願いします。

次に「平成26年成人式について」説明をお願いします。

事務局：来年1月12日に渡辺翁記念会館で開催します成人式の概要について説明させていただきます。

(成人式の内容について、資料3に基づき説明が行われた。)

事務局：次に、毎年地元紙からの申請により、新成人の氏名を提供していましたが、新聞に掲載されることに際し、本人の了解を得ていないことや、個人情報被害に結びつく危険性が高いこと等の理由により、提供を廃止することとしましたので報告します。

(新成人の氏名の提供を廃止することについて、説明がなされた。)

委員長：ただいまの説明に対して、ご質問等ありますか。

委員：新成人の氏名の提供については、地元新聞社以外にも希望する自治会にも提供しているということでしたが、請求される目的は何ですか。

事務局：今年は、4自治体から約20名の新成人の氏名について、提供依頼がありました。理由としては自治会から新成人に祝い金や記念品等を渡すために使

われているとのこと。これについては、今年からは本人の了解を得た方のみ提供することとしました。

委員：一部の自治会に限られているのであれば、廃止することを検討してもよいかもかもしれませんね。

事務局：最近では、同じ自治会に住んでいても個人の情報が入手できないようで、やむを得ず、市へ依頼されているようです。

委員長：他にありませんか。

成人式には私達も出席させていただきます。新成人にとっては、門出を祝う大事な行事ですので、思い出に残る式典となりますようご尽力のほどよろしくをお願いします。

続いて「12月議会の報告について」をお願いします。

事務局：12月定例市議会の一般質問については、12月11日から13日まで行われましたが、その中で教育委員会に対して6人の議員さんから10点の質問がありました。質疑の内容について資料4にまとめましたので、確認をお願いします。

なお、2～3月後にはなりますが、市HPにも議事録が公開されますので、併せて見ていただきたいと思います。

委員長：この件については、よろしいですか。

委員：このたびの議会でも質問がでていますが、先日、地元紙に見初小と神原小学校の統廃合に関する記事が出ていました。それに対して、地元や保護者からの意見や反応はありましたか。

事務局：特に聞いておりません。

委員：記事の内容では統合への議論を進めていくとなっていました。その方向でよろしいですか。

事務局：そのように進めております。

委員長：他にご意見が無ければ、「寄附の報告について」をお願いします。

事務局：(資料5に基づき、寄附の報告を行う。)

委員長：議題については以上ですが、委員の皆さんや事務局から何かありますか。

事務局：既に報告させていただいていますが、市内学校において発生した体罰事案につきまして、その後の内容について報告させていただきます。

(学校教育課長から報告が行われ、質疑が行われた。)

委員長：他にご意見等なければ、以上で本日の教育委員会会議を閉会とします。